

## 令和元年度第1回 独立行政法人農業者年金基金資金運用委員会 議事概要

### 1. 開催日時

令和元年6月21日（金） 13:30～15:00

### 2. 開催場所

独立行政法人農業者年金基金 特別会議室

### 3. 出席委員

・明田雅昭 委員長      ・菅原晴樹 委員      ・徳島勝幸 委員      ・枇杷高志 委員

### 4. 議事

- ・平成30年度運用結果の報告について
- ・平成30年度運用結果の評価について
- ・バーベル型運用にかかる投資対象の分散について
- ・政策アセットミクスの検証について

以上の議事について、事務局からの説明に基づき、意見交換を行った。

### 5. 主な意見

- ・平成30年度の運用結果を公表する際、農業者年金の加入者が閲覧することに鑑み、短期資産の総合収益がマイナスとなっていることの説明及び運用受託機関の変更があった旨を記述すべき。
- ・運用の定性評価について、特に重要度の高い項目はエビデンスに基づいた評価の実施に引き続き努めることが望ましい。
- ・現行のバーベル型運用（20年国債＋キャッシュ）における国債の残存年数を16年にまで分散し且つ修正デュレーションを9年に延長することは、現在の日本銀行の金融政策の枠組みが維持される状況下における対応策として妥当である。
- ・政策アセットミクスの期待収益率の改善を図るための方策を検討するに際しては、過去の期待収益率やリスクの推移などを念頭に置く必要がある。

### 6. 結論

- ・平成30年度運用結果の報告及び評価については、必要な記述の修正を行うことを前提に了承された。
- ・バーベル型運用については、投資対象の分散を実行へ移すことが了承された。
- ・政策アセットミクスの現時点における見直しは不要とされた一方、過去の政策アセットミクスなども参考に、期待収益率の改善を図るため、どのような方策がとれるのかについて検討を行うことが了承された。

以上